

2025年9月期 第3四半期決算説明資料



株式会社フォーシーズHD

証券コード：3726スタンダード市場



1. 事業概要

2. 2025年9月期第3四半期決算概要

3. 各事業の取組みと進捗について

4. 今後の進捗について



私たちのミッション

はずむライフスタイルを提供し、人々を幸せにする

「美と健康」「生活における癒し」「衛生・環境コンサルティング」
を事業の柱として展開



美と健康



生活における癒し



衛生・環境

コンサルティング

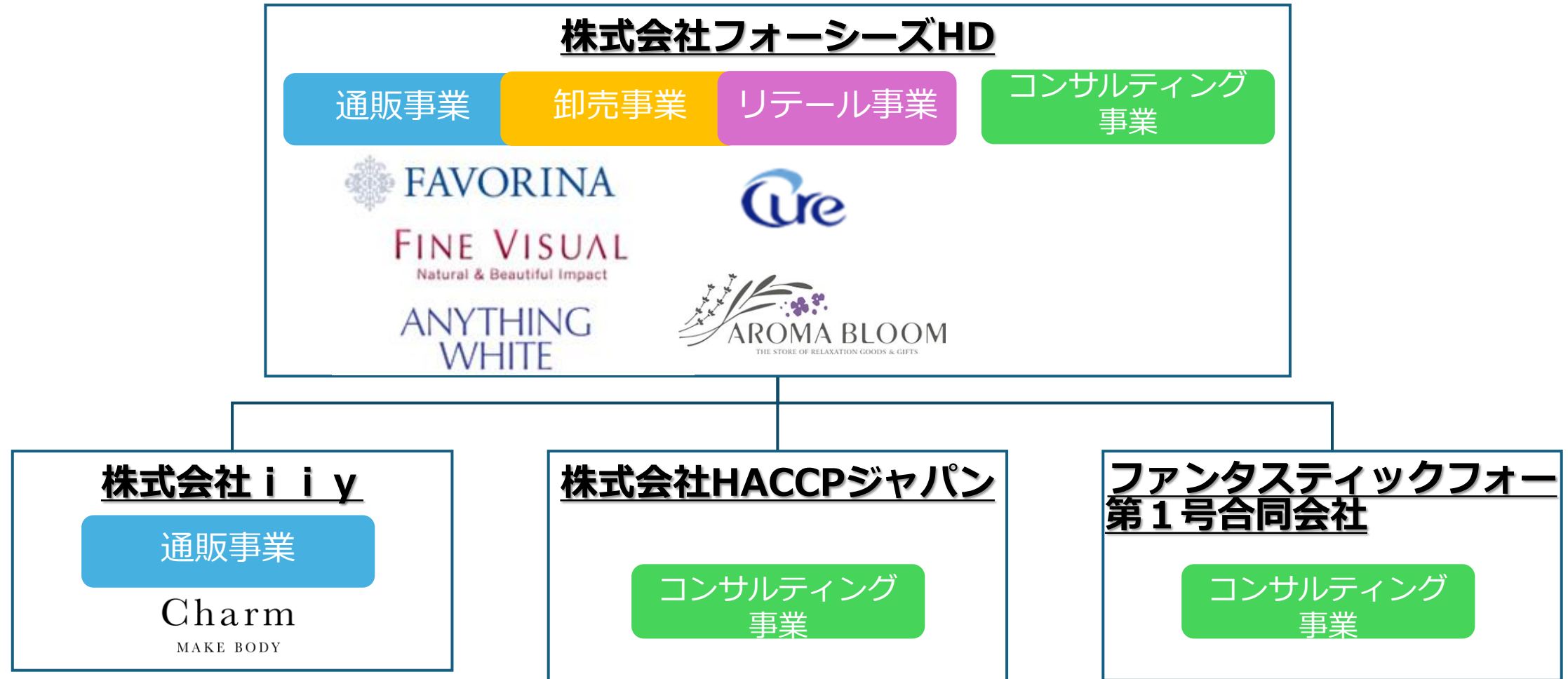


**当社グループは、お客様（Customer）を創造（Creation）し、
大切（Cherish）にし、社会貢献（Contribution）します。**

会社名	株式会社フォーシーズHD
設立	2003年12月 5 日
事業内容	通販事業／卸売事業／リテール事業／コンサルティング事業
所在地	本社：福岡市中央区薬院1-1-1 東京支社：東京都港区虎ノ門4-1-10
代表者	代表取締役社長 寺田 智美
資本金	18億1,386万円(2025年6月30日時点)
決算期	9月30日
株式市場	東京証券取引所 スタンダード市場 (証券コード：3726)
グループ会社	株式会社HACCPジャパン、株式会社 i i y、 ファンタスティックフォー第 1 号合同会社
従業員数	170名(連結) （2024年9月30日時点／パート・アルバイト含む）



当社グループは(株)フォーシーズHD、3つの子会社で運営しています。
「通販事業」「卸売事業」「リテール事業」「コンサルティング事業」
の4つのセグメントで事業を展開



当社グループ

株式会社フォーシーズHD

化粧品



ヘアケア商品

Larét

アロマ関連商品



株式会社 i i y

Charm
MAKE BODY

自社コールセンター



EC



Aroma Bloom店舗

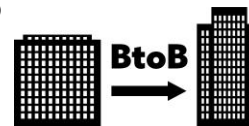


toBtoC



海外

toB



国内消費者

国内企業

通販事業

リテール事業

卸売事業

コンサルティング
事業

株式会社フォーシーズHD

ファンタスティックフォー第1号合同会社

- ・太陽光発電に関するコンサルティング
- ・系統用蓄電池事業

株式会社HACCPジャパン

- ・食品衛生コンサルティング
- ・検査事業
- ・衛生に関する製品販売



1. 事業概要

2. 2025年9月期第3四半期決算概要

3. 各事業の取組みと進捗について

4. 今後の進捗について



ハイライト

(単位：千円)

売上高	営業損失（△）	親会社株主に帰属する 四半期純損失（△）
1,781,428	△132,781	△157,679

既存事業は売上げが大幅伸長！！

通販事業：EC広告配信で先行投資し、売上拡大。 コールセンターも順調に利益を確保

【前年同期比：売上高**11.9%増**、セグメント利益9.5%減】

卸売事業：国内・海外ともに売上・利益を伸長中

【前年同期比：売上高**22.6%増**、セグメント利益5.5%減】

リテール事業：戦略的な店舗退店による、利益体質へ改善中

再生可能エネルギー事業では、太陽光発電所、蓄電所の積極的な取得を行い、今後販売を進め収益の最大化を図る！！

利益の最大化を図るため引続き、複数社との売却交渉を継続中。

物件の仕入資金にあたる前渡金が増加、事業譲受によるのれん償却費用、業務委託費用が先行投資として発生し、セグメント損失額へ影響しているが、既に売却契約締結済み物件の実行とともに、引続き今期末までの積極的な販売により回収、黒字化を目指す。

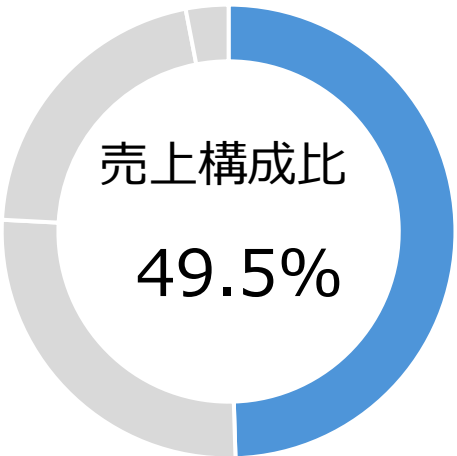


化粧品・健康食品、アロマ関連商品の販売

衛生・環境のコンサルティング

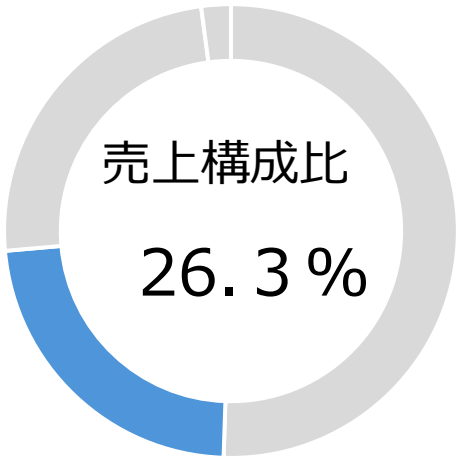
通販事業

電話オペレーター販売
EC販売



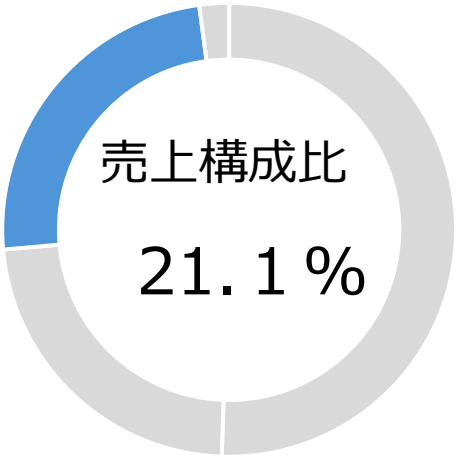
卸売事業

国内卸
海外卸



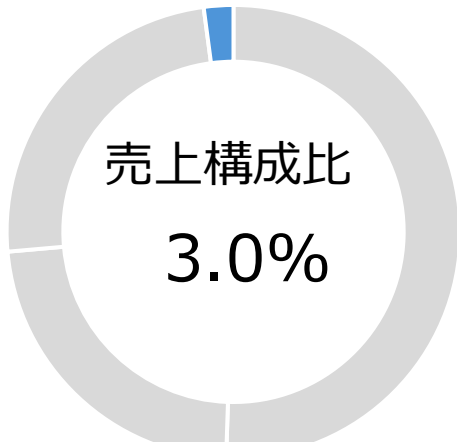
リテール事業

AROMA BLOOM
直営店舗の運営
2025年 6 月末時点10店舗



コンサルティング事業

太陽光発電事業
衛生に関わる事業に
関するコンサルティング



2025年9月期第3四半期決算（連結）

（単位：千円）

	2024年9月期 3Q	2025年9月期 3Q	前年対比
売上高	1,672,875	1,781,428	108,553
営業利益（△）	△74,261	△132,781	△58,520
経常利益（△）	△82,036	△165,411	△83,374
親会社株主に帰属 する四半期純利益 （△）	△89,501	△157,679	△68,177
1株あたり四半期純利 益（△）	△10.81	△15.64	△4.83

・既存事業は、卸売事業と通販事業が売上を牽引し、順調に売上高が成長

・太陽光発電所のコンサルティング業務は積極的な物件取得を進めてきましたが、収益の最大化を図るため複数社との売却交渉を継続中

・系統用蓄電池事業は、2物件の取得を行う
クラウドファンディングにおけるコンサルティング事業では、役務を完了し売上計上へ



2025年 9 月期第3四半期決算（連結）

損益計算書

（単位：千円）

	【連結】 2024年9月期3Q	【連結】 2025年9月期3 Q	対前年対比増減
売上高	1,672,875	1,781,428	108,553
売上総利益	1,109,857	1,184,081	74,224
販売費及び一般管理費	1,184,119	1,316,863	132,744
営業利益（△）	△74,261	△132,781	△58,520
経常利益（△）	△82,036	△165,411	△83,374
親会社株主に帰属する 四半期純利益（△）	△89,501	△157,679	△68,177



2025年 9 月期第 3 四半期決算（連結）

貸借対照表

(単位：千円)

	【連結】 2024年9月期	【連結】 2025年9月期 3 Q	対前年対比増減
流動資産	1,949,157	2,491,580	542,422
現金及び預金	836,658	236,917	△599,741
固定資産	344,416	384,323	39,907
有形固定資産	332	4,823	4,491
無形固定資産	266,396	287,975	21,578
投資その他の資産	77,688	91,525	13,837
資産合計	2,293,574	2,875,904	582,330



2025年 9 月期第 3 四半期決算（連結）
貸借対照表

（単位：千円）

	【連結】 2024年9月期	【連結】 2025年9月期 3 Q	対前年対比増減
負債合計	1,120,170	1,415,805	295,634
流動負債	911,329	1,150,555	239,226
固定負債	208,841	265,249	56,407
純資産合計	1,173,403	1,460,099	286,695
株主資本	1,170,814	1,442,050	271,235
新株予約権	2,588	18,048	15,460
負債純資産合計	2,293,574	2,875,904	582,330



2025年9月期第3四半期決算（連結）

セグメント別売上高

(単位：千円)

	2024年9月期 3Q		2025年9月期 3Q		対前年増減
	実績	構成比	実績	構成比	
通販事業	788,546	47.1%	 882,061	49.5%	93,515
卸売事業	382,316	22.9%	 468,717	26.3%	86,401
リテール事業	476,600	28.5%	376,540	21.1%	△100,060
コンサルティング事業	29,783	1.8%	 54,108	3.0%	24,324
その他	5,333	0.3%	0	—	△5,333
調整	△9,705	—	0	—	9,705
合計	1,672,875		1,781,428		



2025年9月期第3四半期決算（連結）
セグメント別営業利益及び損失

（単位：千円）

	2024年9月期 3Q	2025年9月期 3Q	対前年増減
	実績	実績	
通販事業	144,088	130,408	△13,680
卸売事業	154,573	146,102	△8,471
リテール事業	△29,934	△20,329	 9,605
コンサルティング事業	△13,746	△79,296	△65,550
その他	△17,787	0	17,787
調整 ※1	△311,455	△309,666	1,788
合計	△74,261	△132,781	△58,520



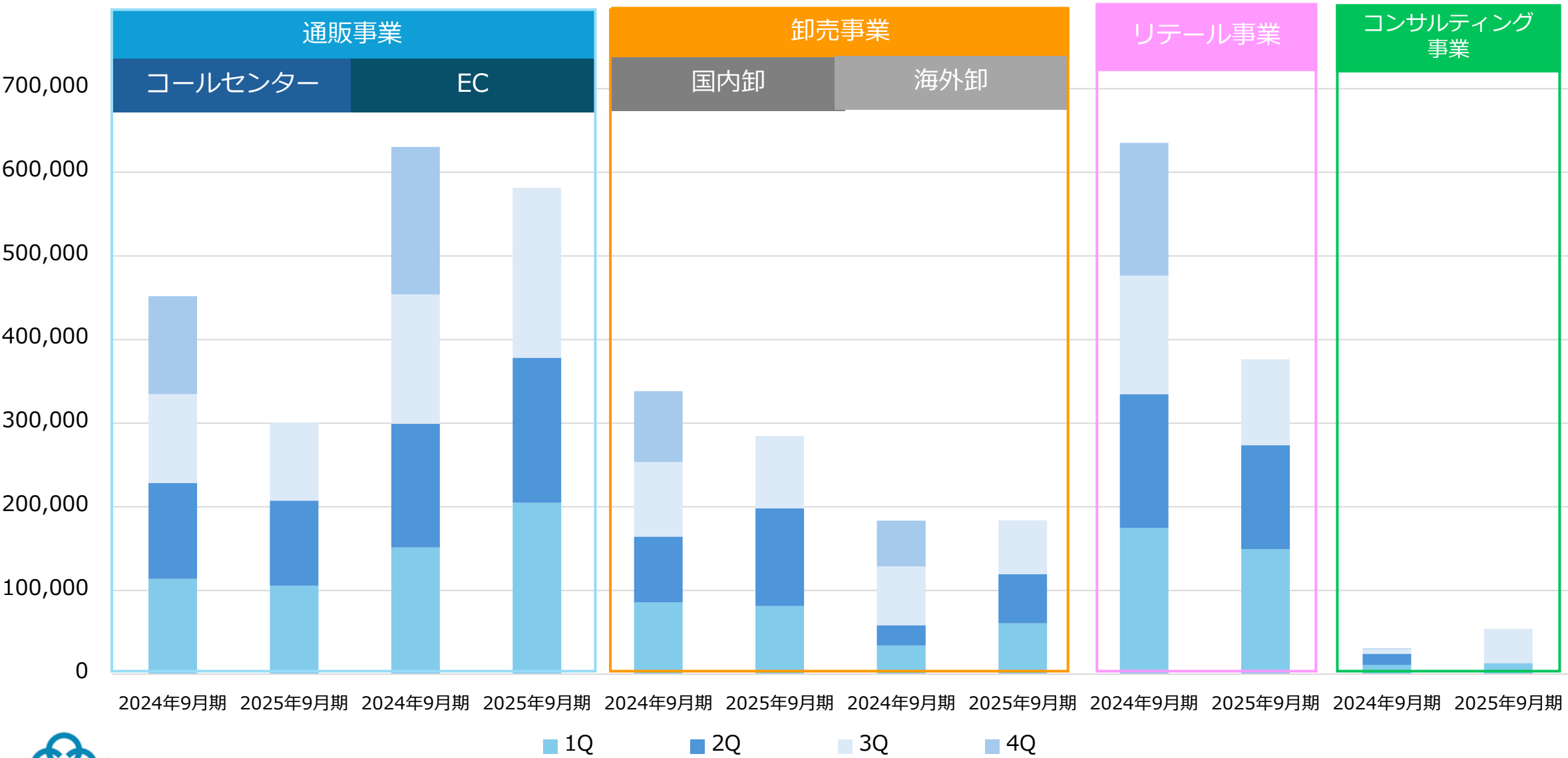
1. 事業概要
2. 2025年9月期第3四半期決算概要
3. 各事業の取組みと進捗について
4. 今後の進捗について



2025年9月期第3四半期決算（セグメント別売上高）

■セグメント別売上高前年対比

（単位：千円）

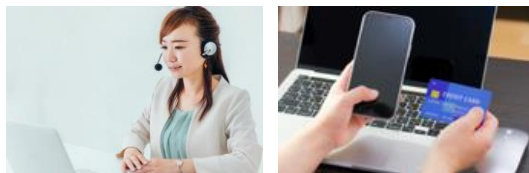


1Q 2Q 3Q 4Q



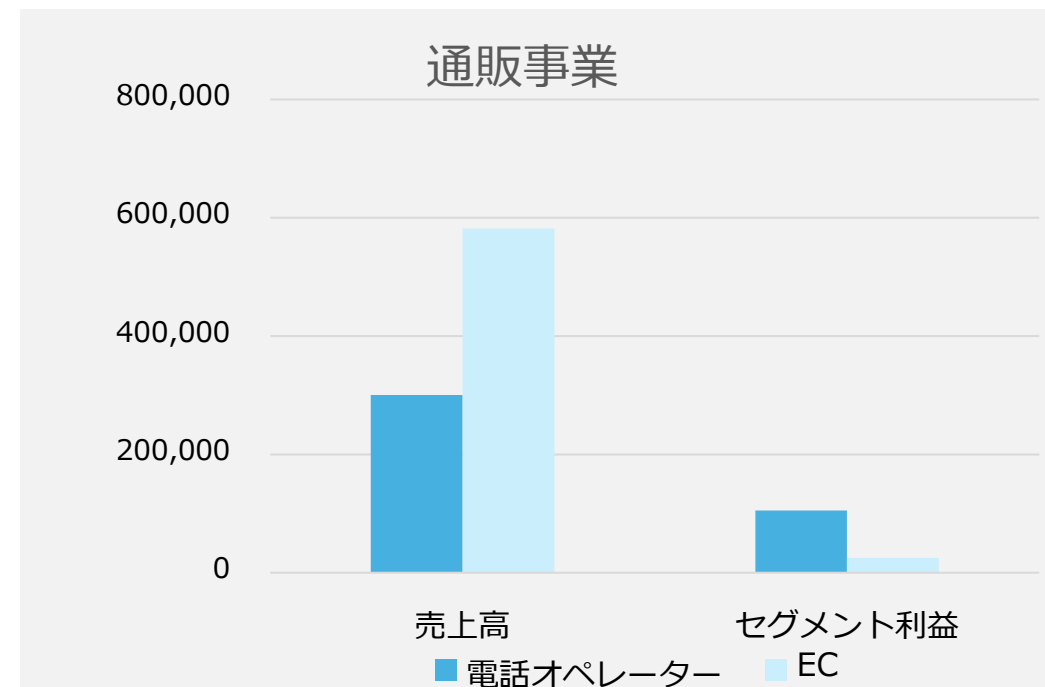
<通販事業の取組み>

電話オペレーターによる販売とEC販売の構成



約20年の通信販売のノウハウを活かし、様々な商品をご案内。
社内にコールセンターを設置し、お客様に寄り添ったコミュニケーションを行っております。自社サイトやモールでの販売も行っております。

- ・「AROMA BLOOM」のEC販売の売上が好調
モールイベント等をきっかけにし、アクセス数や売上を伸長
- ・(株) i i y の「Charm make body」新商品を続々と投下
自社ページでの購入も増えており、モールでの販売も好調
SNS施策も好調で、ブランディングを強化中
- ・電話オペレーター販売は引続き安定的な利益体制を継続中



<卸売事業の取組み>

国内卸と海外卸での構成

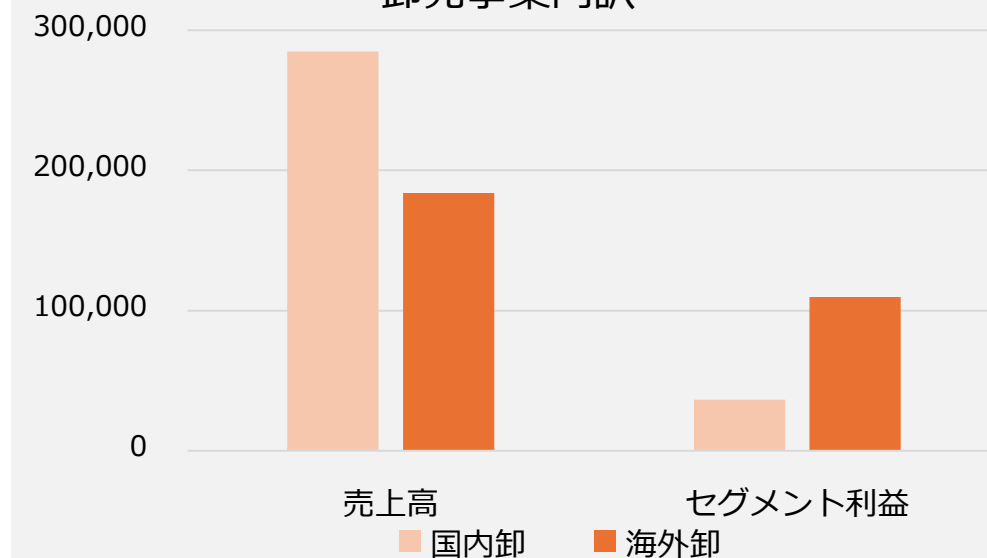


国内市場・海外市場におけるドラッグストア・バラエティショップ等の量販店舗へ化粧品・健康食品、アロマ関連商品の卸販売や店舗への出店を行っております。

- ・国内・海外ともに前年対比で大きく売上を伸長
- ・中国で炭酸クリアパックの一般貿易を開始
- ・海外卸が順調に拡大
- ・ベトナムでの販路が大きく進展
Cureブランド商品のイベントを実施、取扱いアイテムや店舗数も拡大中
- ・タイでのCureブランド商品取扱い店舗数も拡大中
- ・国内では「メタックスアロマティックローション」の拡販に注力
バラエティショップ、ドラッグストア等での販路を拡大中



卸売事業内訳



<リテール事業の取組み>

関東を中心に展開する“AROMA BLOOM”店舗での
売上で構成



アロマを使ったお悩み別、シーン別に合わせた提案型ライフスタイルショップ「AROMA BLOOM(アロマブルーム)」直営店舗を関東地方を中心に展開しております。

- ・前年同期比で赤字幅は改善

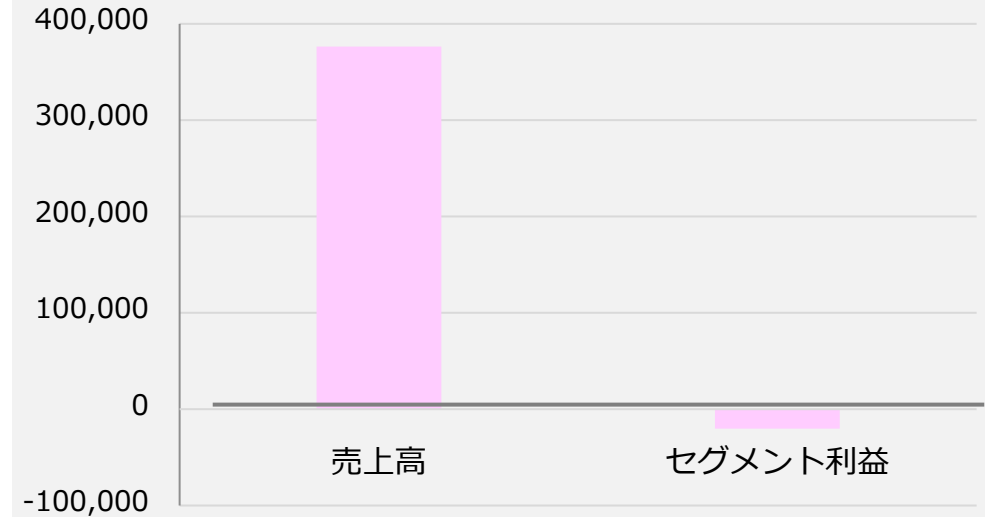
店舗数は7店舗減に伴い、売上は前年同四半期比21.0%減だが、セグメント損失額は改善

■店舗数 **2025年9月期 3Q（2025年6月末時点） 10店舗**
2024年9月期 3Q（2024年6月末時点） 17店舗

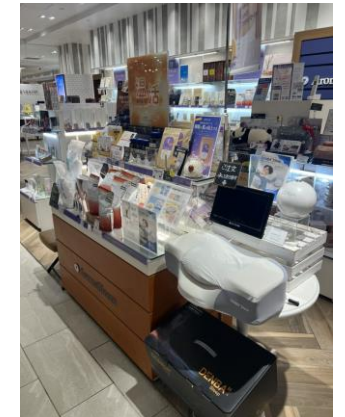
店舗の特性に合わせた商品設置や店舗スタイルの変更等地域特性に合わせたMD（ブランド、店舗、顧客）コンセプトを見直し、リピート率と客単価アップの会員施策を継続。
店舗コンセプト及び収益性に見合う物件においては、新規出店についても検討。



リテール事業



・客単価、リピート率UPのための
LINE、みせめぐアプリ会員施策は引続き好調



<コンサルティング事業の取組み>

太陽光発電 と 衛生関連のコンサルティング事業で構成

2Qより系統用蓄電池事業を開始！

当社と（同）ファンタスティックフォー第1号で、
低圧・高圧の太陽光発電のコンサルティング事業
系統用蓄電池事業



衛生関連のコンサルティング事業
(株)HACCPジャパンによる衛生指導・衛生関連製品販売事業

低圧太陽光発電所及び一部の高圧太陽光発電所については、収益の最大化を図るため複数社との売却交渉を継続中。

当初の計画より売却の契約締結に変更や、さらに売却契約締結済みの一部の高圧太陽光発電所に、工事進捗の変更があったものの、一部の売却代金の資金回収は変更後の計画にて進捗中。

セグメント損失額の要因として、事業譲受によるのれん償却費用として43,578千円、業務委託費用として61,180千円が先行して生じたことが影響しているが、今後物件の売却により回収していく。

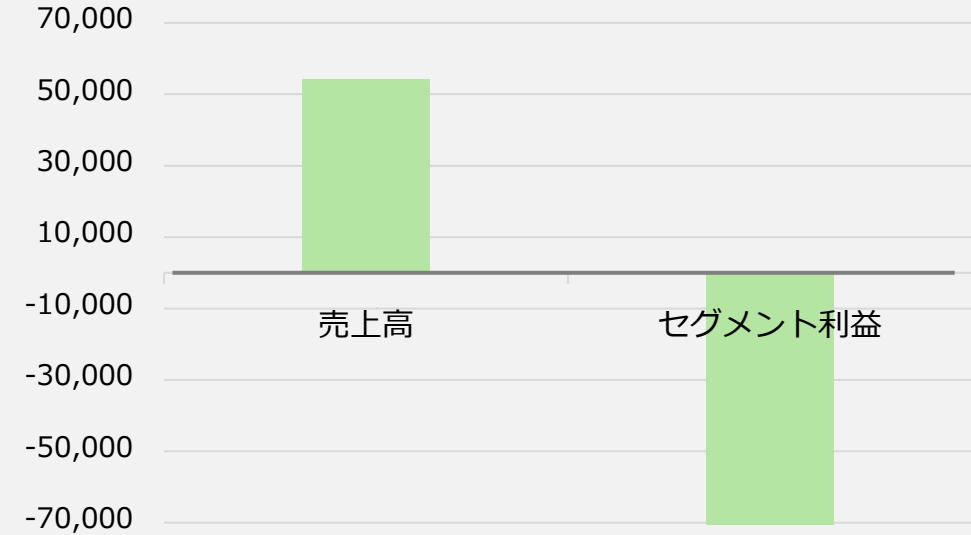
再生可能エネルギー事業の事業領域拡大のため、**系統用蓄電池事業を開始！**

株式会社FUNDIが運営する系統用蓄電所を対象としたクラウドファンディングを活用した事業において、スキームの企画立案から確認までのコンサルティング業務での役務完了。第三四半期の計上へ。

系統用蓄電所2物件と1物件の接続権を取得。
(2025年6月に取得した1物件は2025年7月に売却済)



コンサルティング事業



1. 事業概要
2. 2025年9月期第3四半期決算概要
3. 各事業の取組みと進捗について
4. 今後の進捗について



4. 今後の成長戦略について

他社との業務提携によって、新ブランド、新たな分野への参入によって、
事業スピードを加速化、販路を拡大していきます。



NEW

■ 循環資源ホールディングスとの業務提携

2025年7月23日公表

<https://tinyurl.com/359ha5sv> (短縮URL)

WEB3.0の技術を活用し系統用蓄電所の開発・運営、負担金の予測 を目的としたシステムの開発・運用

各電力会社が定めた基準や発電所・蓄電所の立地や配電設備の距離、その他の制度に基づき、事業者が支払う負担金が、当初の想定より大きく予算の変更が生じるケースも多く、事業者の課題となっています。その課題を解決するため、負担金予測システムの開発を行うことで、土地取得に関する精緻な見積もりの設計や効率的かつ計画的な運営につなげていきます。

■ パス株式会社との業務提携

2025年7月28日公表

<https://tinyurl.com/4r4fm265> (短縮URL)

両社の有する知見等を融合し、合計出力100MW（蓄電池容量200MWh程度）を目指して、日本全国で高圧蓄電所および特別高圧蓄電所の開発を共同で推進
また、循環資源ホールディングスと開発するシステムにおいても、双方でシステムを活用する



株式会社PROUMEDとの業務提携

腸活分野でのアプローチ

“美と健康”に関わる腸内細菌叢検査と
プレバイオティクス（※注1）商品及びプロバイオティクス（※注2）
商品の事業に取り組みます。

5月1日販売開始！

第3世代NGS（※注3）による腸内細菌叢検査、
プレバイオティクス（※注1）商品及びプロバイオティクス（※注2）
商品の販売を開始。

腸内フローラ検査で、自分の腸内環境をチェックできます。

11月8日公表

<https://tinyurl.com/2tejzc4v>（短縮URL）

注1）プレバイオティクス

有益な微生物の成長または活動を誘発し、腸内細菌叢を善玉菌優位な環境にする食品素材の総称。

難消化性のオリゴ糖や一部の食物繊維など、食べても胃や小腸で分解・吸収されずに大腸に到達し、大腸に生息する微生物の餌になる食品素材を摂取すること。

注2）プロバイオティクス

ヒトに有益な作用をもたらす微生物の総称。体内環境を整えるために、乳酸菌・ビフィズス菌・酪酸菌・糖化菌などの善玉菌を食品・飲料・製剤から摂取すること。

注3）第3世代NGS（第3世代と呼ばれる次世代シーケンサー）は、ロングリードと呼ばれる長い遺伝子配列を読み取り解析する技術で、正確に約1,000種類を超える菌種レベルで解析を行います。第3世代NGSは「16S-ITS-23S（～4,300 bp）」領域をシーケンシングし、99.9%の精度で、菌を種レベルで同定・識別し、解析します。研究機関だけでなく、医療分野や商業分野でも主流になっていく次世代の検査です。



DENBA JAPAN株式会社との資本業務提携

DENBA JAPAN(株)が有する水分子活性化技術を用いて化粧品、美顔器、健康グッズ等の開発を行い、売上の拡大を図ってまいります。当社とのコラボレーション企画からブランドを立ち上げ、新たな美と健康にかかわる商品の開発を行い、販路を拡大してまいります。



世界初、寝る美顔器枕「DENBA Sleep」

2025年2月の総代理店販売からわずか12日で
契約台数100台を突破！！

DENBAの技術を搭載した枕、大口式との共同開発 骨格矯正技術を枕の形状化し開発。寝ているだけで大口式とDENBA技術が体感できます。

※当社の通信販売、リテールでも販売中。
総販売代理店として、代理店も拡大中

DENBA JAPAN(株)の商品

今後も「DENBA Mobile」「DENBA Pet」等様々な商品の販売を行ってまいります。



動物用健康機器「DENBA PET」

ペットの健康をサポート。
麻布大学で、ペットのストレス緩和のエビデンス
を取得されております。

コラボレーション企画 販路拡大



11月14日公表

<https://tinyurl.com/yc84275z> (短縮URL)

無料体験会、無金利キャンペーンを
実施中



株式会社ジェリービーンズグループとの業務提携

認知・販路拡大

ターゲットが近いことからと双方の商品の拡販及び認知拡大を目的として業務提携

(株)ジェリービーンズグループは婦人靴を直営店舗3店舗での小売事業、EC販売、SDGs 関連商品、スポーツアパレル販売を行っております。

当社と(株)ジェリービーンズグループの双方で商品販売を行う事、双方の株主優待商品として今後取り扱っていきます。



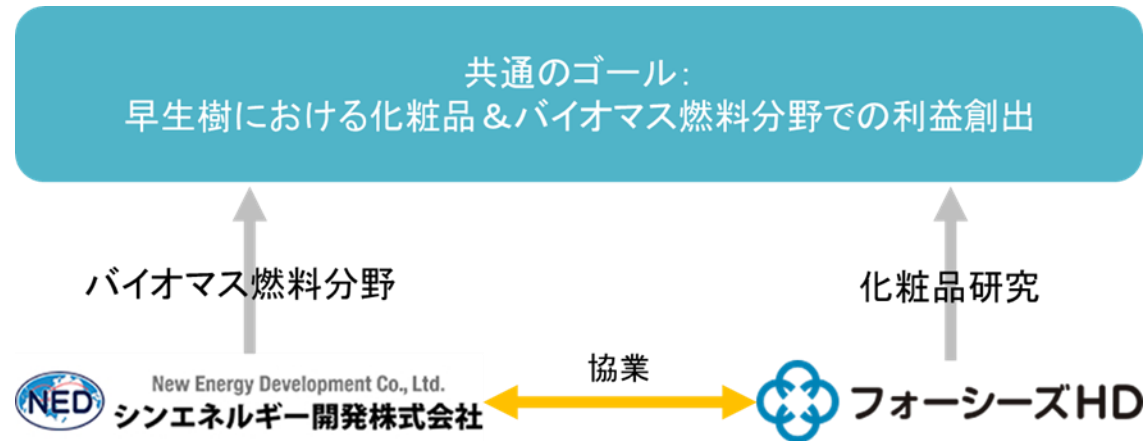
JELLY BEANS Group



2025年6月13日公表の「第三者割当による新株式及び第17回新株予約権（固定行使価額型）の発行に関するお知らせ」で公表しておりますとおり、ジェリービーンズグループに新株を発行しております。



シンエネルギー開発(株)との業務提携



【化粧品分野】

自然由来成分を活用したサステナブルな商品開発

【再生可能エネルギー事業】

バイオマス燃料分野での利益創出

3月31日公表

<https://tinyurl.com/37ef65s4> (短縮URL)

早生樹である早生ヤナギを活用した以下の取り組みを進めていきます。

1. バイオマス燃料分野での利益創出

早生ヤナギを利用したバイオマス燃料の製造を通じて、再生可能エネルギー事業での収益基盤の構築

2. 早生ヤナギの特性を活かした研究

抗酸化作用、抗菌作用、美白、保湿などの効果を研究し、これらの特性を活用した商品開発

3. 環境負荷を軽減した商品開発

化粧品、健康食品、サプリメントなど、環境に配慮した商品を共同で開発



● 1.2年木→生育立木姿

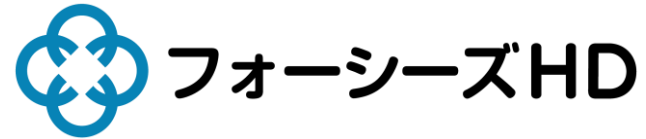


春薬柳 樹高: H≒4.7m



お客様により良い暮らしをご提案するお悩み解決型企业として、
お客様の声に傾聴した
商品開発、サービス・事業の提供を行います。





はすむライフスタイルを
提供し、人々を幸せにする

株式会社フォーシーズHD

証券コード：3726スタンダード市場

<https://www.4cs-holdings.co.jp/>

